



2024年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月12日

上場会社名 株式会社 シーズメン
コード番号 3083 URL <https://www.csmen.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5623-3781

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の連結業績(2023年3月1日～2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	4,249	9.8	32		63		78	
2023年2月期第3四半期	4,709	52.6	141		136		178	

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 78百万円 (%) 2023年2月期第3四半期 178百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第3四半期	27.27	
2023年2月期第3四半期	61.93	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第3四半期	2,410	737	30.6	255.97
2023年2月期	2,428	851	33.6	283.25

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 737百万円 2023年2月期 816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期		0.00		0.00	0.00
2024年2月期		0.00			
2024年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,530	12.3	170		210		230		79.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期3Q	2,882,800 株	2023年2月期	2,882,800 株
期末自己株式数	2024年2月期3Q	112 株	2023年2月期	112 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期3Q	2,882,688 株	2023年2月期3Q	2,882,708 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が沈静化に向かい、社会・経済活動の正常化が進んだこともあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、不安定な国際情勢を背景とするエネルギー・原材料価格の高騰や、為替相場の変動などにより、先行きは不透明な状況が続いております。

衣料品小売業界におきましては、国内物価の上昇に伴って、消費者の生活防衛意識が高まっており、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、下記の取り組みを実施してまいりました。

(株式会社シーズメン)

郊外ショッピングセンターやモールでミドルプライス衣料品の販売を主たる事業として展開する第1事業部では、商品面におきましては、主にブランド商品の投入を強化することによって、価格帯の高い商品群の品揃えを拡充いたしました。販売面におきましては、ミリタリージャケット・レザージャケット・スカジャン等の高額商品入荷に合わせて常連のお客様の来店促進に取り組み、客単価の向上を図りました。また、ブランドのファン層に向けて翌月の新作商品をご紹介し、予約を頂くことで来店頻度の増加を図りました。

店舗展開におきましては、当第3四半期連結累計期間における出店はなく、退店は2店舗、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は「METHOD」17店舗、「流儀压榨」9店舗、「AGIT POINT」1店舗、「G-LAND」1店舗、「FACETASM」1店舗の合計29店舗となりました。

都心部ファッションビルや百貨店でハイプライス衣料品の販売を主たる事業として事業を展開する第2事業部では、商品面におきましては、クオリティーの向上に努め一部商品の価格設定の見直しを行いました。商品内容については暖冬を視野に防寒のコート、ブルゾン商材の仕入れを抑制し、気温の影響を受けづらいレザー商材、ニットの強化を図りました。販売面におきましては、ブランド会員向けに強化していた予約商品の販売を進めると共に、定価販売に注力し、客単価の向上及び利益の改善に努めました。

店舗展開におきましては、当第3四半期連結累計期間における出店はなく、退店は1店舗、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は「TORNADO MART」12店舗、「TORNADO MART WORLD」4店舗、「HIGH STREET」7店舗、「BLUE TORNADO」1店舗、「TORNADO MART OUTLET」1店舗の合計25店舗となりました。

(株式会社チチカカ)

郊外ショッピングセンターやモールでエスニックカジュアル衣料品・雑貨の販売を主たる事業として展開するチチカカでは、商品面におきましては、仕入精度の向上に取り組み、適時適量の商品投入による仕入高の抑制を進めました。また、アウトドアブランドとのコラボレーション企画に取り組みることにより、新たなお客様の開拓を図りました。販売面におきましては、常連のお客様に向けて、人気のアウター・ニットなどについて例年よりも早期に商品展開を行い、DM・会員カード提示による優待セールを実施して、高単価商品の販売強化に努めました。

店舗展開におきましては、当第3四半期連結累計期間における出店はなく、退店は9店舗、当第3四半期連結会計期間の店舗数は「チチカカ」34店舗、「アウトレット」1店舗の合計35店舗となりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は42億49百万円（前年同期比9.8%減）、営業損失は32百万円（前年同四半期は141百万円の損失）、営業外費用において貸倒引当金繰入額27百万円等を計上したことにより経常損失は63百万円（前年同四半期は136百万円の損失）、親社株主に帰属する四半期純損失は78百万円（前年同四半期は178百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は24億10百万円となり、前連結会計年度末と比べ、18百万円減少いたしました。主に、売掛金1億62百万円、商品1億4百万円等の増加、現金及び預金1億69百万円、その他の流動資産34百万円、のれん14百万円、敷金及び保証金68百万円等の減少であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は16億72百万円となり、前連結会計年度末と比べ、95百万円増加いたしました。主に、買掛金2億72百万円の増加、借入金10百万円、賞与引当金22百万円、その他の流動負債82百万円、資産除去債務54百万円等の減少であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は7億37百万円となり、前連結会計年度末と比べ、1億13百万円減少いたしました。主に利益剰余金78百万円、新株予約権34百万円の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の業績予想につきましては、2024年1月12日付け「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	477,853	308,479
売掛金	225,147	388,060
商品	954,104	1,058,700
その他	92,620	58,317
流動資産合計	1,749,725	1,813,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,890	4,326
その他(純額)	232	2,078
有形固定資産合計	5,123	6,404
無形固定資産		
のれん	76,548	62,195
その他	822	724
無形固定資産合計	77,370	62,919
投資その他の資産		
敷金及び保証金	589,802	521,181
破産更生債権等	-	27,327
その他	6,233	5,938
貸倒引当金	-	△27,327
投資その他の資産合計	596,036	527,120
固定資産合計	678,529	596,444
資産合計	2,428,255	2,410,003

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	186,679	459,042
短期借入金	257,720	254,795
1年内返済予定の長期借入金	206,348	199,702
未払費用	153,661	144,786
未払法人税等	25,245	41,110
賞与引当金	40,583	18,471
資産除去債務	51,216	14,674
その他の引当金	4,398	524
その他	129,287	46,651
流動負債合計	1,055,140	1,179,758
固定負債		
長期借入金	120,072	119,122
退職給付に係る負債	33,446	-
資産除去債務	363,339	345,610
その他	4,829	27,620
固定負債合計	521,687	492,353
負債合計	1,576,828	1,672,112
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	899,296	899,296
利益剰余金	△132,708	△211,333
自己株式	△72	△72
株主資本合計	816,515	737,890
新株予約権	34,911	-
純資産合計	851,427	737,890
負債純資産合計	2,428,255	2,410,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
売上高	4,709,344	4,249,278
売上原価	1,981,270	1,799,678
売上総利益	2,728,074	2,449,599
販売費及び一般管理費	2,869,758	2,481,625
営業損失(△)	△141,683	△32,025
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	0	0
助成金収入	11,624	697
受取補償金	-	5,000
その他	15,212	1,748
営業外収益合計	26,842	7,449
営業外費用		
支払利息	6,410	6,126
為替差損	13,652	4,226
貸倒引当金繰入額	-	27,327
その他	1,334	1,146
営業外費用合計	21,397	38,826
経常損失(△)	△136,238	△63,402
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	10,596	-
新株予約権戻入益	-	34,911
特別利益合計	10,596	34,911
特別損失		
過年度決算訂正関連費用	8,898	-
店舗閉鎖損失	-	9,024
特別損失合計	8,898	9,024
税金等調整前四半期純損失(△)	△134,540	△37,514
法人税、住民税及び事業税	43,985	41,110
法人税等合計	43,985	41,110
四半期純損失(△)	△178,525	△78,624
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△178,525	△78,624

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純損失(△)	△178,525	△78,624
四半期包括利益	△178,525	△78,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△178,525	△78,624

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(財務制限条項)

当社連結子会社である株式会社チチカカが金融機関から借り入れている借入金の一部(146,220千円)について、取引銀行3行とシンジケートローン契約を結んでおります。この契約には、下記の財務制限条項が付されております。

①単体の貸借対照表における純資産の部の金額を、2019年4月中間期末日の純資産の金額以上に維持すること。

②単体の損益計算書上の経常損益につき損失を計上しないこと。

当社連結子会社である株式会社チチカカは、当第3四半期連結会計期間及び当第3四半期累計期間において上記事項に抵触しております。しかしながら、借入先の金融機関より、期限の利益の喪失に係る権利行使を行わない旨の同意を得ております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)

当社グループは、衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

当社グループは、衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで継続して営業損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象または状況が存在しております。

このような状況のもと、シーズメンにおいてはオリジナルブランド開発の推進やレディース商品販売の強化を進めております。また、チチカカでは、引き続き不採算店舗の閉鎖による経営基盤の強化を行うとともに、シーズメンとの各種機能統合によるシナジーの創出を進め、営業力の強化とコスト効率の向上に取り組み、収益の改善を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間においては、前連結会計年度から実施しております不採算店舗の撤退や商品仕入れの精度向上、コスト削減策など収益改善策の効果に加えて、新型コロナウイルスの影響の軽減等により、業績は回復しており、資金繰りの改善が見込まれます。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。